

### 【今週の注目疾患】

#### 侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14週～52週に53例、2014年1～52週に66例、2015年1～19週に47例の届出があった。2015年は、昨年同時期(2014年1～19週)に届出のあった24例と比較し、届出数が多くなっている。そこで2013年14週以降に届出された166例について発生状況をまとめた。

保健所別の届出数は、千葉市35例、海匠27例、安房20例、市川15例、松戸12例、船橋市11例、印旛11例、習志野7例、市原7例、君津7例、柏市7例、野田6例、山武1例だった。

性別は、男性98例(59.0%)、女性68例(41.0%)だった(表1)。

年齢群別は、5歳未満36例(21.7%)、70代35例(21.1%)、60代34例(20.5%)、80代24例(14.5%)が多かった(表1)。

表1. 2013年14週～2015年19週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

		2013年14～52週		2014年		2015年1～19週		合計	
		届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性別	男性	32	60.4	41	62.1	25	53.2	98	59.0
	女性	21	39.6	25	37.9	22	46.8	68	41.0
年齢群	5歳未満	18	34.0	11	16.7	7	14.9	36	21.7
	5～9歳	1	1.9	0	0.0	1	2.1	2	1.2
	10代	1	1.9	0	0.0	2	4.3	3	1.8
	20代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30代	3	5.7	2	3.0	3	6.4	8	4.8
	40代	1	1.9	4	6.1	1	2.1	6	3.6
	50代	3	5.7	6	9.1	3	6.4	12	7.2
	60代	8	15.1	16	24.2	10	21.3	34	20.5
	70代	10	18.9	14	21.2	11	23.4	35	21.1
	80代	8	15.1	11	16.7	5	10.6	24	14.5
90代	0	0.0	2	3.0	4	8.5	6	3.6	
合計		53	100.0	66	100.0	47	100.0	166	100.0

診断月別届出数は、11月から12月に増加した(図1)。

症状等は、発熱142例(85.5%)、菌血症105例(63.3%)、肺炎73例(44.0%)、咳62例(37.3%)、意識障害38例(22.9%)、全身倦怠感25例(15.1%)、髄膜炎22例(13.3%)、嘔吐14例(8.4%)、頭痛14例(8.4%)、項部硬直10例(6.0%)、痙攣9例(5.4%)、中耳炎7例(4.2%)、大泉門膨隆1例(0.6%)の記載があった(複数報告あり)。

肺炎球菌が分離・同定された検体は、血液156例、髄液17例だった(複数報告あり)。

図1. 2013年14週～2015年19週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症  
診断月別・年齢群別届出数 166例

